



日本JCIシニア・クラブ

SENIOR CLUB



シニア家族会での楽しい1コマ。

現役に負けず劣らず、 意気天を衝くシニア

シニア家族会での楽しい1コマ。生活産業の創出に着手し「人の誘致」政策を推進、5年間で1000名を超える移住者を受け入れるなど、地方都市再生モデルとしてマスコミ、全国の自治体、商工会議所の注



黒野シニア会長。



創立40周年記念事業 和郷楽祭。

伊達JC
シニアクラス
(北海道)

私たち伊達JCシニアクラブは、北海道の南西部に位置する人口37000人のまち伊達市を活動の拠点としています。この町の歴史は今から遡ること明治3年(1870年)、伊達支藩の巨理藩伊達邦成公によつて移住開拓され、以来140年の時を重ねてきました。北海道の多くの都市が屯田兵によつて開拓された経緯と異なり、武家開拓によりできた町であり、先駆的な西欧農法の導入や産業の誘致、子弟教育の充実など数々の素晴らしい側面を私たちに伝えていきます。その根底に流れ、今なお受け継がれているもの、それは先進気鋭の精神です。近年では官民一体となったまちづくり協議会を中心に、少子高齢社

目を集めております。認証番号403番のLOMとして昨年6月には創立40周年記念式典と地域還元型の記念事業として3000名を超える市民を迎えての野外コンサートを開催いたしました。ご参集いただきました皆さまには心より感謝いたしております。40年の歳月の中でOBメンバーは200名を数え、行政や経済団体、前述のまちづくり協議会の中核を担うなど多岐にわたって活躍しております。シニアクラブは第3代会長黒野又四郎氏を筆頭に会員数は130名を超えており、現役への愛情(?)たっぷりの支援をはじめ、総会、シニアクラブ会



創立40周年記念式典のオープニング。

員相互の親睦・交流を深める家族会の開催などを行なっております。近年では、親子で各事業に参加をする場面も増え、古参の会員から新人

類と呼ばれる世代が入り混じる中、大先輩たちは若かりし日の青春時代に熱く語ったことを、まるで昨日のこのように燃え上がり、語らひは尽きません。その時の顔は若々しく見えて、熱いJCIライフを過ごしてきたのだと頭が下がる想いです。来たる2011年には第60回北海道地区会員大会が伊達市で開催されます。主管LOMシニアクラブとして全道各地からご参集いただくOBメンバーへのホスピタリティの発揮はもちろんの事として、現役メンバーに対しても口は出さず、心地よいプレッシャーの中で活躍できる環境を作り出せたらと思っております。

日本JCIシニア・クラブ
北海道地区担当世話人

川南 忠士